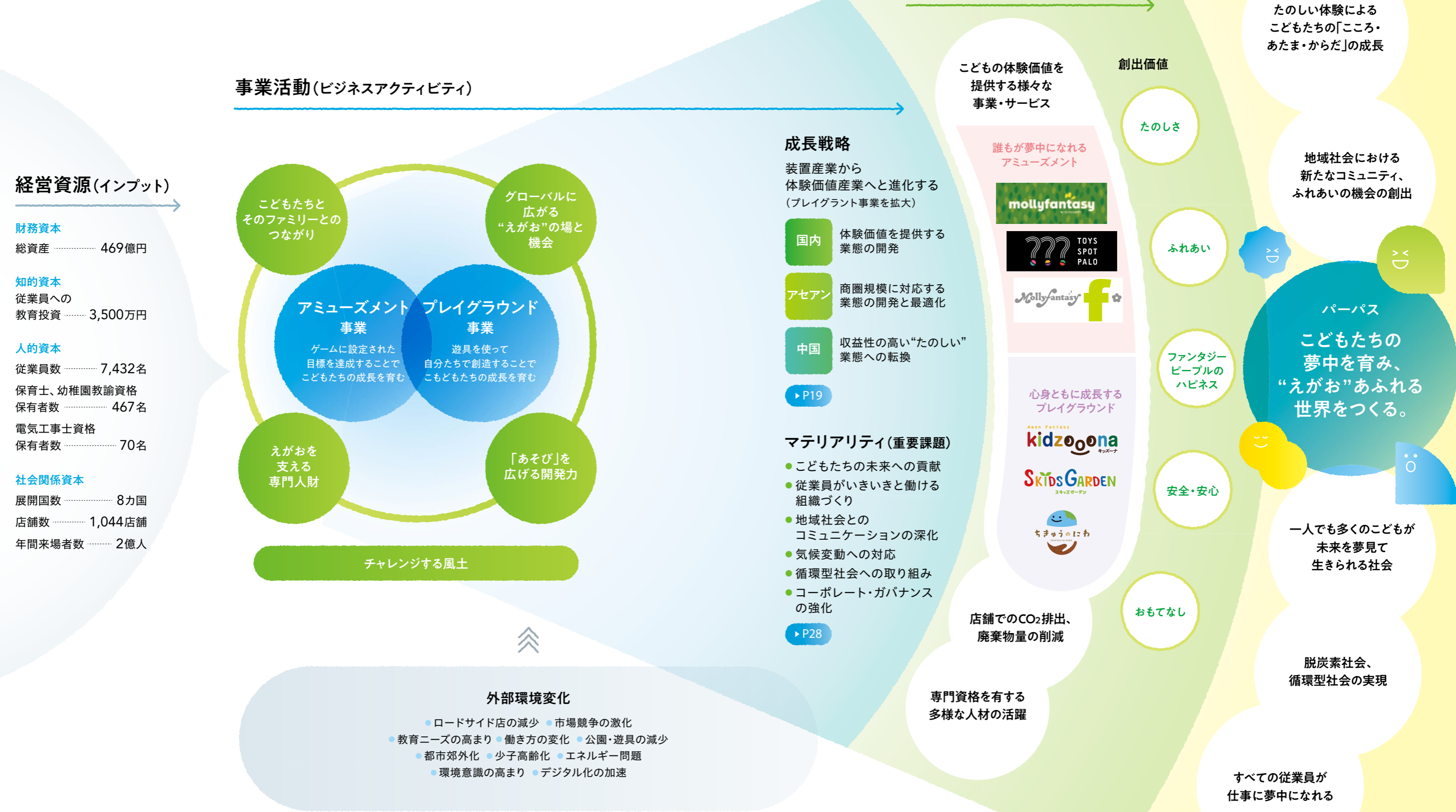


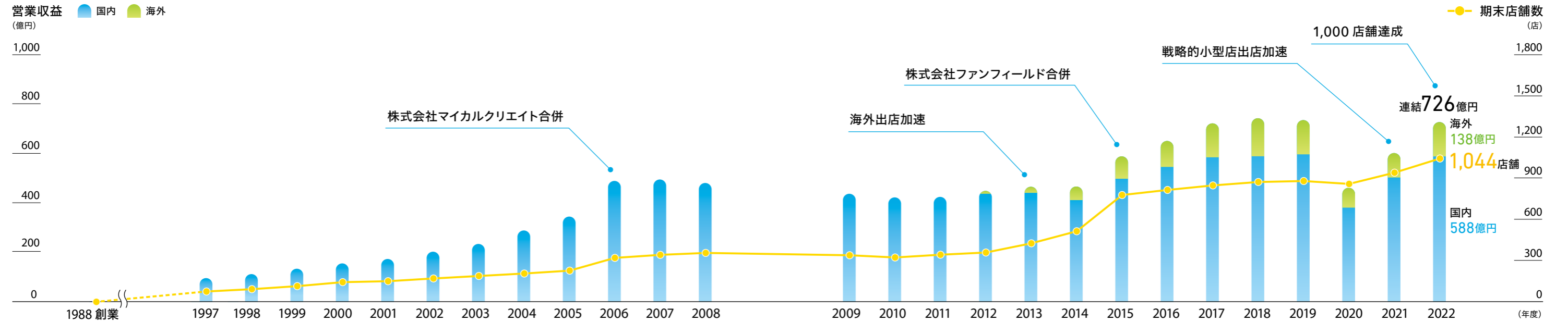
価値創造モデル

イオンファンタジーは、これまで培った5つの強みのもと、2つの主力事業を通じて子どもたちの「えがお」に貢献しています。さらなる事業成長に向け、「あそびの体験」の創出へ注力するとともに、6つのマテリアリティ(重要課題)に取り組み、多様な価値を社会に提供していくことで、「えがお」あふれる世界の実現を目指します。



価値創造のあゆみ

イオンファンタジーは、1988年の創業以来、子どもたちとそのファミリーに向き合い、世界各地で様々な事業・業態を展開してきました。私たちが変わらず大切にするのは、「子どもたちのえがお」です。これからも、「あそび」を通じて子どもたちの成長を支え、新たな価値を提供していきます。



創業期 (1988-2005) | **成長期** (2006-2020) | **変革期** (2021-2022)

「室内ゆうえんち」という新たな価値の創造

1988年に「明るく安全な室内ゆうえんち」をコンセプトとしたファミリー向けアミューズメント施設をオープン。若者向けの娯楽施設という従来のアミューズメントのイメージを一新し、家族にたのしさとふれあいを提供しました。2001年には現在の主力業態である『モーリーファンタジー』を初出店し、2005年には全国200店舗を達成しました。



第1号店のメリーゴーラウンド



2007年のモーリーファンタジー店舗

二度の合併と海外進出 アミューズメント業界首位へ

2006年、2015年に行った企業合併により事業規模が拡大。売上・店舗数ともに国内業界首位となりました。また、2007年の中国進出を契機として、プレイグラウンド事業を中心に海外各国への出店を進め、10年間で6カ国へ展開しました。特に、アセアンでは安全で清潔な屋内のあそび場への需要が高く、当社の施設は高い評価を受けています。



中国の1号店



FANPEKKA

「子どもの成長」を軸とした新たな価値の提供 「あそびを通じたまなび」への挑戦

創造性や社会性を育むプレイグラウンド事業はもちろん、アミューズメント事業においてもオリジナルマシンを開発するなど、「あそびながらまなぶ」というエデュテイメントの概念に着目した事業・業態を拡大しました。また、温浴事業やアウトドア事業にも参入するなど、あそびや家族のふれあいを軸として事業の多角化にも取り組みました。



キッズーナ1号店



新業態のエデュテイメント事業

「子どもの成長」という新たな価値へ

コロナ禍で業界全体が大きな打撃を受けましたが、国内のプライズ・カプセルトイ業態は好調を維持、コロナ収束後はアセアン各国で売上が増加するなど、あそびへの需要は不変でした。私たちは子どもと家族にとっての「あそび」の価値を再認識し、パーパスとして昇華させました。これまで培った強みを生かし、「成長」という新たな価値の提供を目指します。



ちきゅうのにわ



海外プレイグラウンド

会社の沿革

1988年 ジャスコ株式会社SC部 アミューズメント 事業課創立 第1号店となる 「ファンタジーパーク 大館店」を開店	1997年 株式会社イオン ファンタジー設立	1998年 社是・企業理念の制定	2002年 JASDAQ市場 上場	2003年 東証第二部上場	2005年 東証第一部 上場	2006年 株式会社マイカル クリエイイトと合併	2007年 イオンファンタジー 北京(現イオン ファンタジー中国)設立	2011年 イオンファンタジー マレーシア設立	2012年 イオンファンタジー タイランド設立	2014年 イオンファンタジー インドネシア及びイオン ファンタジーフィリピン設立	2015年 株式会社ファンフィールド と合併	2017年 イオンファンタジー ベトナム設立	2022年 東証プライム市場を 選択 世界で1,000店舗を 達成
--	-------------------------------------	----------------------------	--------------------------------	-------------------------	-----------------------------	---------------------------------------	---	--------------------------------------	--------------------------------------	---	-------------------------------------	-------------------------------------	--

事業展開

イオンファンタジーは、アミューズメント事業とプレイグラウンド事業を中心に、日本・アジア各地で様々な施設とサービスを展開しています。出店する地域や商業施設、ターゲットに合わせて業態を最適化させることで、より多くの子どもたちの“えがお”に貢献しています。

2023年2月期売上高

726億90百万円

2023年2月期営業利益

8億49百万円

8カ国 1,044店舗に展開

●国内事業

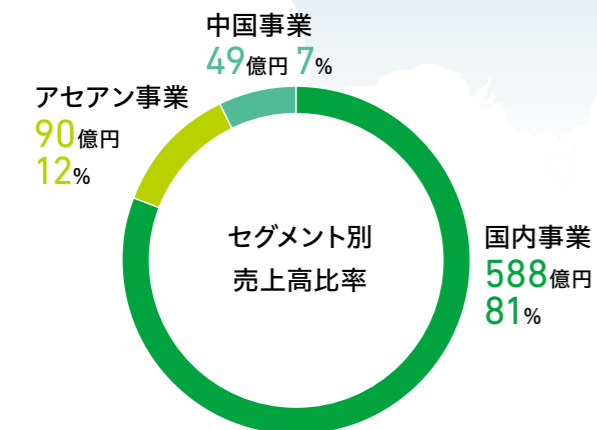
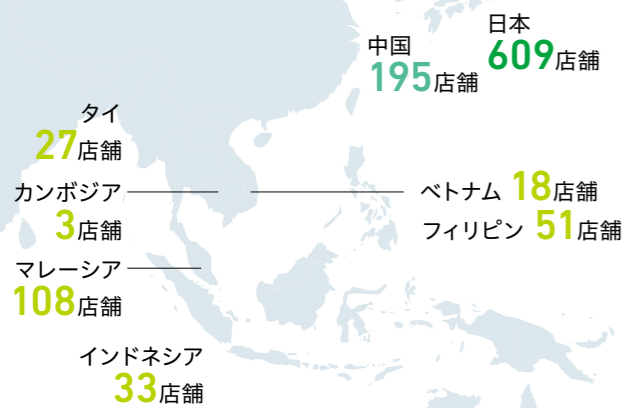
アミューズメント事業を主軸として、全国のショッピングセンターを中心に店舗を展開。直近では好調の戦略型小型店の出店を加速し、シェアを広げています。また、2022年に制定したパーパス・サステナビリティ方針の具現化に向けて、こどもの成長やSDGsをテーマにした新業態の開発にも取り組んでいます。

●アセアン事業

プレイグラウンド事業を中心に、各国の主要都市圏で店舗を展開。イオングループだけではなく、現地の有力ディベロッパーとの連携により出店を拡大しています。特に、競合他社には真似できない日本水準の安全規格と接客レベルは高い評価を受けており、ソフト面での優位性を維持しています。

●中国事業

各主要都市においてアミューズメント事業とプレイグラウンド事業の両方を展開。2022年には運動・健康をテーマにこどもの成長を支援する新業態をオープンするなど、市場ニーズの変化を捉え、業態開発に生かしています。他にもアプリやECサイトなど、デジタル活用も積極的に進めています。



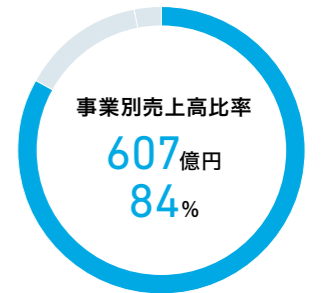
事業領域

アミューズメント

誰でもすぐに夢中になれる、えがおを生み出す空間

「明るく」「清潔」「安全・安心」を基本に、ファミリー向けのアミューズメント施設を運営しています。最新のプライズゲーム、メダルゲーム、小さなお子さまでも楽しめる乗り物など、お子さまと家族が夢中になれる様々なあそびを提供するとともに、あそびながら学べるオリジナル機種も開発しています。

業態	開始年	イメージ	店舗数 (2022年度)
ファミリー向けアミューズメント	2001年	mollyfantasy	592店舗
オールエイジ対応	2010年	Mollyfantasy f	46店舗
戦略的小型店	2018年	TOYS SPOT PALO	183店舗



店舗数
国内 601店舗 (73.2%)
海外 220店舗 (26.8%)

会員数
国内子ども会員 74万人
オンライン会員 60万人

プレイグラウンド

自由にあそびをつくり上げる、ふれあいが生まれる空間

思い切り遊べる大きな遊具や、創造力を育む知育玩具などを備える室内遊具施設を運営しています。家族や友だち、店舗スタッフとあそびを通じてふれあうことで、お子さまの心と身体の成長をサポートします。海外を中心にテーマ型プレイグラウンドも展開しています。

業態	開始年	イメージ	店舗数 (2022年度)
屋内公園的プレイグラウンド	2010年	kidzoona	193店舗
あそびを通じた子育て支援 母子分離機能を持つ店舗	2009年	SKIDS GARDEN	55カ所
ブランド価値を深める テーマ型大型店舗	2015年	FANPEKKA	12店舗
あそびを通じた環境志向の醸成 SDGsテーマの大型店舗	2023年	チキョウのこ	1店舗



店舗数
国内 60店舗/カ所 (23.0%)
海外 201店舗 (77.0%)

うちアセアン展開状況
マレーシア 30店舗
タイ 21店舗
フィリピン 51店舗
インドネシア 32店舗
ベトナム 10店舗

その他の事業

あそびを軸にした事業の多角化

これまで培ったノウハウを生かし、あそびや家族のふれあいを軸にした新たな事業に挑戦しています。自然とふれあう機会を提供するアウトドア施設や、家族のだんらんをつくりだす温浴施設、時間と場所を問わずにあそべるオンラインゲームなどを提供しています。



価値を生み出す強み

イオンファンタジーは、こども向けエンターテインメントのパイオニアとして、創業以来様々な事業・業態に挑戦してきました。こどもたちの“えがお”を引き出し、グローバルに広げてきた強みこそが、未来に向けた新たな価値創造の源泉です。



グローバルに広がる “えがお”の場と機会

こどもたちのあそびに国境はありません。35年かけて磨き上げてきた独自の業態は、海外でも広く受け入れられ、店舗数を拡大。グローバルに通用する日本初のエンターテインメントとして独自の存在感を発揮しています。

事業展開	8カ国 1,044店舗
店舗の海外比率	40%
グループ外出店比率	39%



こどもたちと そのファミリーとのつながり

国内外で2億人の入場者数と多数の会員数を有する顧客基盤の厚さも当社の強み。特に国内では、すぐに連れていける身近さが子育て中のパパ・ママに高く評価されています。このつながりが、新しいあそびの提案や安定した事業成長を支えています。

年間来場者数(海外含む)	のべ2億人
会員数(海外含む)	450万人
店舗の認知度	73%



「あそび」を広げる 開発力

こどもたちが喜ぶ「色」「動き方」「キャラクター」など、その嗜好性を長年にわたって研究し、ノウハウとして蓄積してきたイオンファンタジー。それが、たくさんの独自業態やオリジナル遊戯機械・遊具・イベントなどを開発・提供できる理由です。

開発した業態数	23業態
オリジナル遊戯機械比率(国内)	43.4%
オリジナル遊具比率	70%
海外における遊具の現地調達比率	89%



えがおを支える 専門人財^{※1}

こどもたちに「たのしさ」と「ふれあい」を提供する人財力も他社が追随できない強み。保育士などを積極的に採用するなど店内スタッフの採用・育成に注力するとともに、あそびをサポートする社内資格制度を複数設け、その質を高めています。

保育士、幼稚園教諭資格保有者数	467人
CSインストラクター数 ^{※2}	921人
エンタメリーダー数 ^{※2}	246人
電気工事士資格保有者数	70人

※1 すべて国内の数値 ※2 社内資格



チャレンジする風土

従来の「若者向け」というイメージを一新した「ファミリー向け室内ゆうえんち」という新業態でアミューズメント業界へ参入するなど、国内外で数々の業界初にチャレンジしてきました。その精神は2022年に制定された「FANTASY WAY」の中にも取り入れられ、イオンファンタジーらしさを象徴するものとなりました。